



冬季死亡災害ゼロ100日運動通信

【運動期間：令和7年11月21日～令和8年2月28日】

令和8年
2月号

死亡労働災害が発生しました

12月下旬、一関市の林業現場で、死亡労働災害が発生しました。

内容は、『私有林において、被災者がチェーンソーを用いて立木を伐倒したところ、付近にある根が腐っていた木が倒れ、被災者に激突した。』です。

伐倒木が激突していない、つるが絡んでいないといった“伐倒木とは関係ない木”が倒れることは実はあり、毎年、東北地方の中でも休業4日以上の災害として発生しています。

仕事開始前の事前調査の段階などに腐朽木・欠頂木などを事前に見つけ、作業に危険のおそれがあるものは事前に取り除くことが大切です。

また、この事例を教訓に、皆様が持つ危険の引き出しの一つとして“関係ない木（腐朽木等）が倒れる恐れがあること”も加えていただきますようお願いします。



冬季転倒災害防止対策強化期間

期間：12月1日～2月28日

今シーズンも、寒さ、降雪・積雪が本格化してきました。

先月号でもお知らせしておりますが、冬季特有要因の労働災害を月別で見ますと、1月に次いで二番目に多いのは12月ではなく2月となっています。また、冬季関連災害での「事故の型」別では「転倒」が79%を占めて突出しています。朝夕の気温が氷点下の状況が今後も続きますので、引き続き2月いっぱいも冬季の転倒災害の防止を強く意識してこの冬を乗り越えましょう。



～転倒防止の一例～

除雪しよう 融雪剤をまこう



冬の「安全な歩き方」を実践しよう

- 歩幅は小さく
- すり足で
- 靴の裏全体をつけて（体重は足全体にかける）
- ゆっくりと
- 腰を落とし気味でひざを曲げて
- 両手でバランスを意識して
- 滑りにくい靴を履く
- など



第14次労働災害防止計画への取組状況の報告をお願いします

毎年度の1月は、一関監督署管内すべての事業場の皆様に、第14次労働災害防止計画への取組に対する進捗状況の点検の実施とそのご報告をお願いしています。

まだご報告いただけていない事業場の皆様におかれましては、2月中にご報告をお願いします。





化学物質管理強調月間

あなたの職場にいますか？

化学物質管理者

慣れた頃こそ再確認 化学物質の扱い方

2月は化学物質管理強調月間

最近の化学物質に関する規制の大きな変化にあわせ、広く一般に職場における危険・有害な化学物質管理の重要性に関する意識の高揚を図るとともに、化学物質管理活動の定着を図ることを目的に、昨年「化学物質管理強調月間」が創設され、今年度がその第2回目として展開されます。

期間 令和8年2月1日から2月28日まで

また、特設サイトも開設されていますのでご覧ください。

【特設サイト】
職場の化学物質管理
の道しるべ

ケミガイド



オンライン研修も開催されます

日時

大阪：1月29日(木)13:30-17:00

東京：2月20日(金)13:30-17:00

定員

対面70名 / オンライン200名

対象

外食業界及び宿泊業界を中心とする

第三次産業業種の事業者



厚生労働省

化学物質の自律的管理を学ぼう

自分の職場に「化学物質は関係ない」と思っていませんか？
外食・宿泊業等第三次産業で扱う化学物質を知ろう・学ぼう

労働災害の発生状況

- 一関労働基準監督署管内で令和7年に発生した休業4日以上の労働災害による死傷者数（新型コロナウイルス感染症によるものを除く）（12月末現在速報値）は全産業において154人で、前年同期比で+20人となりました。
- 主な業種別では、製造業が48人（前年同期比+13人）、保健衛生業が19人（同+2人）、建設業が18人（同-9人）、商業が17人（-3人）、運輸交通業が15人（同+3人）などとなっています。
- 事故の型別では、「転倒」が47（同+15人）、「墜落、転落」が34人（同+7人）、「はざまれ、巻き込まれ」が12人（同±0人）などとなっています。
- 今年も年代が高いほど被災者が多い特徴に変化がなく、とくに60代での発生が最も多い状況となっています。（エイジフレンドリーガイドラインへの取組みが大切です）

労働災害事例

（12月把握分の一部）

- 【建設業】 墜落、転落**
住宅新築現場の屋根の雪を下す際、屋根上で滑り落ち、足場の手すりの隙間を抜けて地面に墜落した。（すね骨折）
- 【製造業】 切れ、こすれ**
丸ノコ盤での板材の加工中に、持ち上がったカバーの隙間から指が入って刃に触れた。（指創傷）
- 【運輸交通業】 墜落、転落**
棚の上にある段ボールを取ろうと、回転椅子に登ったが、椅子から転落した。（手首骨折）
- 【商業】 動作の反動、無理な動作**
商品の入った箱を別のカートに乗せ換えようとした際、膝を曲げずに腰だけ曲げて両手で持ったため、背部を痛めた。